



本研修会は公益財団法人JKA
公益振興補助事業の補助財源により開催されます

2024年度JKA補助事業 実施状況報告



NPO法人 全国精神保健職親会
主任コンサルタント 三原 卓司

全国精神保健職親会 (vfoster) について

職親（しょくおや）：精神・発達障害を持つ当事者を受け入れて、社会参加や訓練の場を提供する地域の中小企業のこと。「里親」になぞらえた「職場の親」の意味。

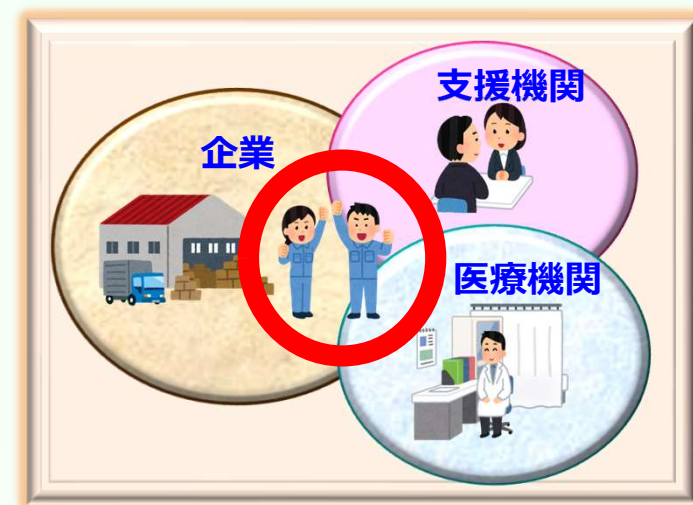
私たちが目指していること

1. 精神・発達障害のある方の就労を支える

企業－福祉－医療 の 全国的ネットワークづくり

2. 上記を実現するための

広報・啓発活動、相談・支援活動



全国精神保健職親会が取り組むおもな活動



地域力で障害者雇用を支える仕組みをつくる活動



- ① 企業ネットワークの構築を目指す活動
障害者雇用相談援助事業 や 事業協同組合 を活用した取り組み
- ② 医療機関や福祉的就労での滞留からのブレイク・スルーを目指す活動
伴走型就労支援モデル(I P S) の手法を活用した一般就労へのルート開拓



Web日報システム「SPIS」の普及啓発事業

【SPIS(えすぴす)の特徴】

- ・ 一人ひとりに合わせた項目 を 4段階評価 で記録
- ・ 記録した 評価点の時系列推移 を簡単に グラフ表示 可能
- ・ 自由コメント欄 で 関係者とのコミュニケーション を実現





本事業の実施経緯

活動内容:精神・発達障害者の雇用管理・就労支援に関するノウハウの啓発

財源:公益財団JKA 公益振興補助

活動期間:平成25(2014)年度 ~

- 事業スキーム:1. 就労定着支援システム **SPiS** を用いて、精神・発達障害者の就労支援を展開
2. 活動実践を通じて得られた成果を基に、雇用管理ノウハウの啓発を行う



支援活動の実践成果を
啓発材料に

啓発活動の成果が
新たな実践に





これまでの活動と事業ステージ

活動開始からの事業ステージ



SPiS 導入事業者の例

民間事業者

	都道府県	導入先名
大手企業	東京都	スターティア株式会社
	京都府	株式会社 島津製作所
		日東精工株式会社
	大阪府	江崎グリコ株式会社
特例子会社	青森県	げんねんワークサポート株式会社
	東京都	株式会社 ドコモ・プラスハーティ
	千葉県	スターティアウィル株式会社
	京都府	オムロン京都太陽株式会社
	大阪府	シャープ特選工業株式会社
	大阪府	ヤンマーシンビオシス株式会社
	中小企業	大阪府
	東京都	有限会社 まるみ
	福岡県	ATUホールディングス株式会社

公的・準公的セクター

	都道府県	導入先名
官公庁	東京都	内閣官房 内閣人事局
	埼玉県	埼玉県
	石川県	金沢市役所 総務局 人事課
健保組合	東京都	全国土木建築国民健康保険組合

就労支援機関

	都道府県	導入先名
移行支援	大阪府	大阪精神障害者就労支援ネットワーク (JSN)
	京都府	博友会 アステックむろまち
	大分県・京都府	社会福祉法人 太陽の家
	福岡県	一般社団法人ワークネット北九州
	長崎県	南高愛隣会 CAREER PORT ほんまち
継続B型	福島県	社会福祉法人福音会 ワークセンター麦
	神奈川県	かながわ精神障害者就労支援事業所の会 B型ホープ大和
	兵庫県	社会福祉法人フロンティア福祉会
	福岡県	とりはた玄海園就労センター
ジョブコーチ	福岡県	一般社団法人 Bridge
なかぼつ	福島県	県中地域障害者就業・生活支援センター
	東京都	障害者就業・生活支援センターTALANT
	沖縄県	障害者就業・生活支援センター かるにあ
		障害者就業・生活支援センター ブリッジ

※これまでの利用者(推計・延べ数)
 事業者数:約180社(推計)
 利用者数:1,000名超(令和5年3月現在 推計)

SPiS 普及活動における直近の課題意識

発信に対するレスポンスが低下してきている・・・？

- SPiSの知名度は一定程度に得られたと感じる(特に就労支援機関)
- 一方でオープン啓発セミナーへの **参加者は頭打ちの傾向**
- セミナーに参加されたからからの具体的な **導入相談も低迷**

• 導入に対してハードルを感じる要因がある？

- ✓ 「難しそう」「大変そう」など、運用の負担へのイメージ？
- ✓ 導入の手順や価格などの情報不足？



- 運用に負担があるイメージをどう軽減するか
- どのような発信があれば興味を喚起するか
- どのようなサポートがあれば導入しやすいか

SPiS 普及活動における直近の課題意識

啓発発信する内容の再考

✓ いま、どのようなコンテンツが求められているか

- 単純にSPISの効果を謳う内容は、もう十分に発信されているのではないか
- 具体的な運用イメージや導入プロセスを提示する方が良いのではないか

✓ 自分たちの視点だけでは拾えないニーズがあるのではないか

- SPIS導入事業者アンケート を実施
- アンケートは、第三者的視点を交えた 客観的な分析とするため、外部に委託

地域のリーダー施設の育成

- さらなる普及拡大には、各地域にリーダー的存在となりうる相談員が必要

SPIS 活動方針の見直し

発信に対するレスポンスが低下してきている・・・？

- SPISの知名度は一定程度に得られたと感じる(特に就労支援機関)
- 一方でオープン啓発セミナーへの **参加者は頭打ちの傾向**
- セミナーに参加されたからからの具体的な **導入相談も低迷**



- 広く一般への啓発を目指すより、**高い関心を持つ層への啓発**に注力
- 地域で**コアとなりうる支援機関に資源を集中し、圏域内の水平展開**を目指す
- **定期開催する企業向け勉強会**の中で、1テーマとしてSPISを取り上げる



2024年度補助事業 事業計画と実施状況

事前計画で設定した活動内容(要点)

1. クラウド型支援ツールに関する研修会の開催

- ツールを実践的に活用できる**支援機関を育成**すべく、個別研修や啓発セミナーを開催
- 行政機関や他の就労支援機関等とも連携し、**ツールを地域実装するモデルの確立**に努める
- 開催地:**全国4箇所程度のモデル地域**

上記活動の実施状況

開催日	研修会名	開催地	参加者数
2024/10/17(木)	SPISなかぼつユーザー情報交換会	オンライン	16名
2024/11/22(金)	SPIS ミニセミナー スタートアップ編 in 福島	福島県郡山市	28名
2025/ 3/14(金)	京都モデル事業 報告会	京都市	

別途 個別事業所研修 2事業所で計16名参加(いずれも2024/7月実施)



2024年度補助事業 事業計画と実施状況

事前計画で設定した活動内容(要点)

2. メンタルケアの向上につながる職場内コミュニケーションについての啓発活動

- ツールの導入が合理的配慮の提供に相当すること、職場のメンタルケアに重要であること、ツールの活用が職場の心理的安全性や生産性の向上につながることへの啓発を行う
- 動画コンテンツの制作や制作したコンテンツを用いた個別研修など

上記活動の実施状況

開催日	研修会名	開催地	参加者数
2024/ 7/30(火)	SPISユーザー会	東京都	41名
2024/10/ 4(金)	業種・規模を問わない勉強・交流会	東京都	38名
2024/10/19(火)	関西SPISユーザー会	大阪市	41名
2025/ 3/14(金)	京都モデル事業 報告会	京都市	

別途 個別企業研修会(導入時研修) 2社で計6名参加(2024/7月、9月に実施)





2024年度補助事業 事業計画と実施状況

事前計画で設定した活動内容(要点)

3. 啓発コンテンツの制作

- 導入事例やツール活用のポイントの紹介を行う動画コンテンツを制作する。
- ツールの利用者アンケートを行い、ツールの有効性を見極め、新たなニーズを探る。成果は小冊子にまとめ、研修・啓発資料として活用できるようにする。

動画: 就労支援機関での活用事例紹介



- 医療法人博友会 アステップむろまち
- 県央福祉会 クレイヨンピピー
- 両事業所出演のトークセッション

利用者アンケート 分析資料





2024年度補助事業 事業計画と実施状況

事前計画で設定した活動内容(要点)

4. クラウド型支援ツールのOJTの提供

- ツールに関心を持った事業者に、**一定枠内でのOJT(無償トライアル)**を提供する
- ツールを地域または企業内で実装する一助とする。

就労支援機関

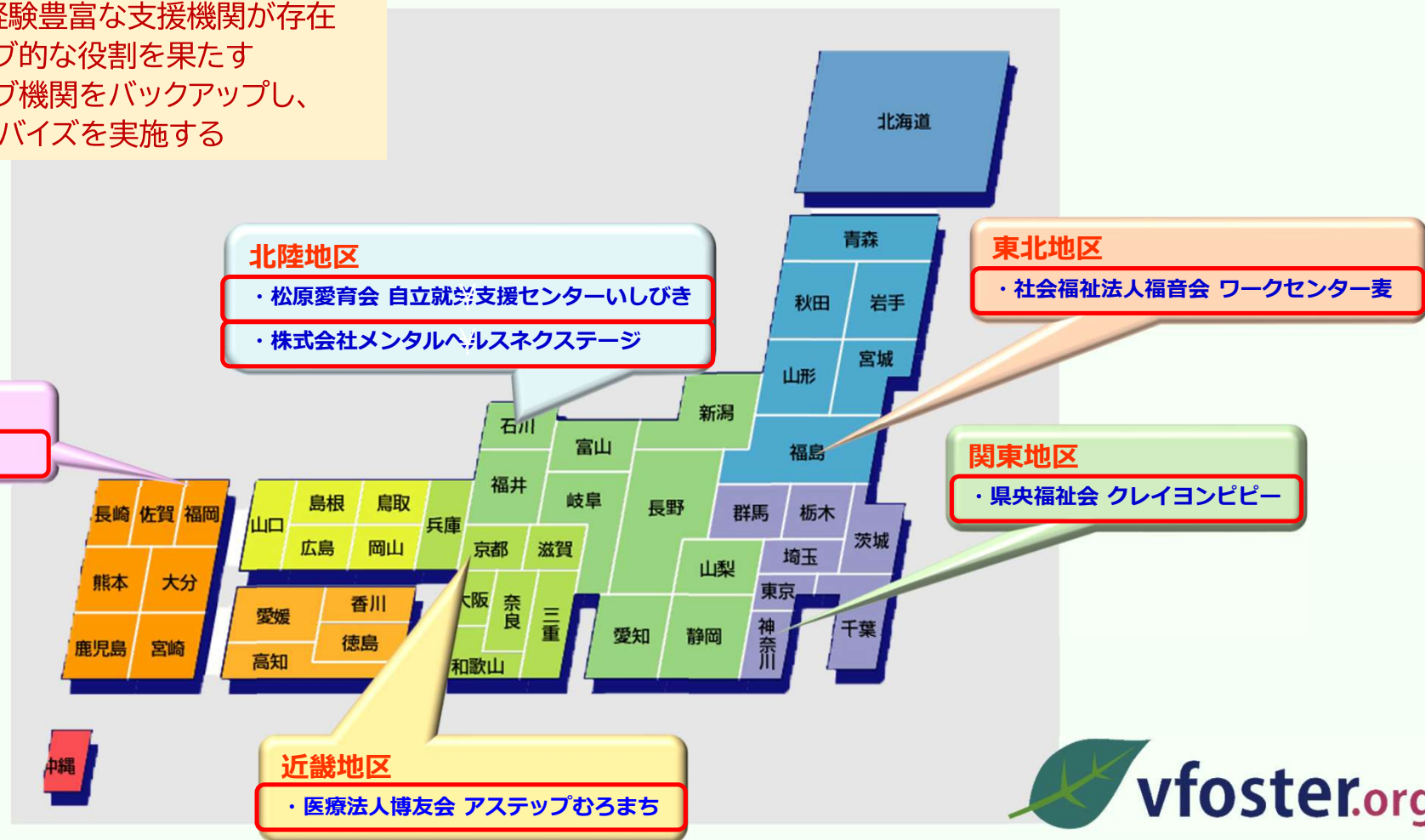
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
事業所数	2	3	3	4	4	4	2	2	2	1	1	1	有償転換 3事業所 (1事業所 有償化調整中)
利用者(ケース)数	10	11	11	14	14	14	11	11	11	11	8	8	一部、利用者入替えあり

企業(雇用現場)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
企業数	1	1	1	2	2	4	3	4	4	5	5	5	有償転換 1社 (3社 有償化調整中)
利用者(ケース)数	8	8	8	9	9	13	5	5	5	39	39	39	1社27名は自主運用

SPiS 地域のリーダー施設の育成

- 各地区にSPiSの運用経験豊富な支援機関が存在
- その機関が各地区のハブ的な役割を果たす
- vfosterは各地区のハブ機関をバックアップし、SPiS研究所がスーパーバイズを実施する



SPIS 地域モデルを構築する活動

SPIS 京都モデル事業



- ✓ 2018年度からスタートし、2024年度で7年目となる事業
- ✓ 開始当初は、京都府(京都障害者雇用企業サポートセンター)の事業
- ✓ 2022年度より全国精神保健職親会(v Foster)に移管
- ✓ 企業に6ヶ月間、外部相談員付で、SPISをトライアル利用していただく
- ✓ 毎年実施する事業報告会に事例報告することが参加条件



SPiS 地域モデルを構築する活動

福島県でのSPIS展開状況



社会福祉法人福音会 ワークセンター麦（須賀川市）

- ✓ 2019年度 本事業によるトライアルからSPIS運用開始
- ✓ 2022年度 有償利用に転換、就職者の定着支援でも活用
- ✓ 2023年度 福島県内のスーパーバイズ活動を開始

社会福祉法人ほっと福祉記念会

県中地域障害者就業・生活支援センター（郡山市）

- ✓ 2023年度 本事業によるトライアルからSPIS運用開始
- ✓ 2024年度 有償利用に転換、県内企業・関係機関に展開中

両施設を軸に、県内水平展開への期待が高まる状況

SPIS 活動方針見直しの成果

低下してきたと感じていたレスポンスは、その後・・・？

- SPISの知名度は一定程度に得られたと感じる(特に就労支援機関)
- 一方でオープン啓発セミナーへの **参加者は頭打ちの傾向**
- セミナーに参加されたからからの具体的な **導入相談も低迷**



- 広く一般への啓発を目指すより、**高い関心を持つ層への啓発**に注力
- 地域で**コアとなりうる支援機関に資源を集中し、圏域内の水平展開**を目指す
- **定期開催する企業向け勉強会**の中で、1テーマとしてSPISを取り上げる



- 地道な活動を継続した結果、**重点地域で動きが出てきた印象**
- 企業向け勉強会を契機に**SPISに関心を寄せていただいた企業あり**
- **踊り場感のあった展開が動き出し、新たなステージに向かい始める気配**

SPIS 以外のクラウド型就労支援ツール

ATARIMAEクラウド (ロゴはFVP社 Webサイトより)

運営:株式会社FVP (<https://www.fvp.co.jp/>)

- 障害者雇用、就労支援のコンサルティング企業
- システム開発:有限会社奥進システム
- SPISをベースに独自機能を盛り込む



キモチプラス (ロゴと情報はネクストワン社 Webサイトより)

運営:ネクストワン合同会社 (<https://n-one.jp/#service>)

- 日々の体調&メンタルチェックとセルフケアにより、当事者自身による体調安定を実現

雇用現場向けアピール

- 特性の共有で当事者とのコミュニケーションをスムーズに
- 誰もが働きやすい環境づくりで定着率を向上

雇用現場向けアピール

- 体調安定によって利用日数が30%増加
- 新規利用者決定数が1.3倍に
- 自己理解・配慮事項整理の工数が10分の1に

KimochiPlus



SPiS 以外のクラウド型就労支援ツール

Keikai (ロゴと情報はKAKEAI社 Webサイトより)

運営:株式会社KAKEAI (<https://kakeai.co.jp/>)

- 全ての1on1を進化させる1on1ツール
- ※ 1on1ミーティングとは、業務の指示や判断を目的としたミーティングではなく、部下を主役とした、成長や日常的な困りごとの支援を目的としたミーティング

The logo for Keikai, featuring the word "Keikai" in a stylized, blue, cursive font.

タレントパレット (ロゴと情報は 製品情報 Webサイトより)

運営:株式会社プラスアルファ・コンサルティング

(<https://www.pa-consul.co.jp/talentpalette/>)

- あらゆる人材データを一元化・分析し、組織の力を最大化させるタレントマネジメントシステム
- 人事業務を効率化するだけでなく、人材データを分析・活用
- 経営・人事戦略の意思決定の高度化、次世代人材の育成、最適配置、離職防止、採用強化など科学的人事戦略を実現

The logo for Talent Palette, featuring a colorful speech bubble icon with a person silhouette inside, followed by the text "Talent Palette" and "タレントパレット" below it.The logo for vfoster.org, featuring a green leaf icon with a white vein, followed by the text "vfoster.org" in a blue, sans-serif font.

SPiS これから取り組んでいきたいこと

さまざまなクラウドツールが登場する中、SPiSの価値は何か？



KimochiPlus

Kakeai

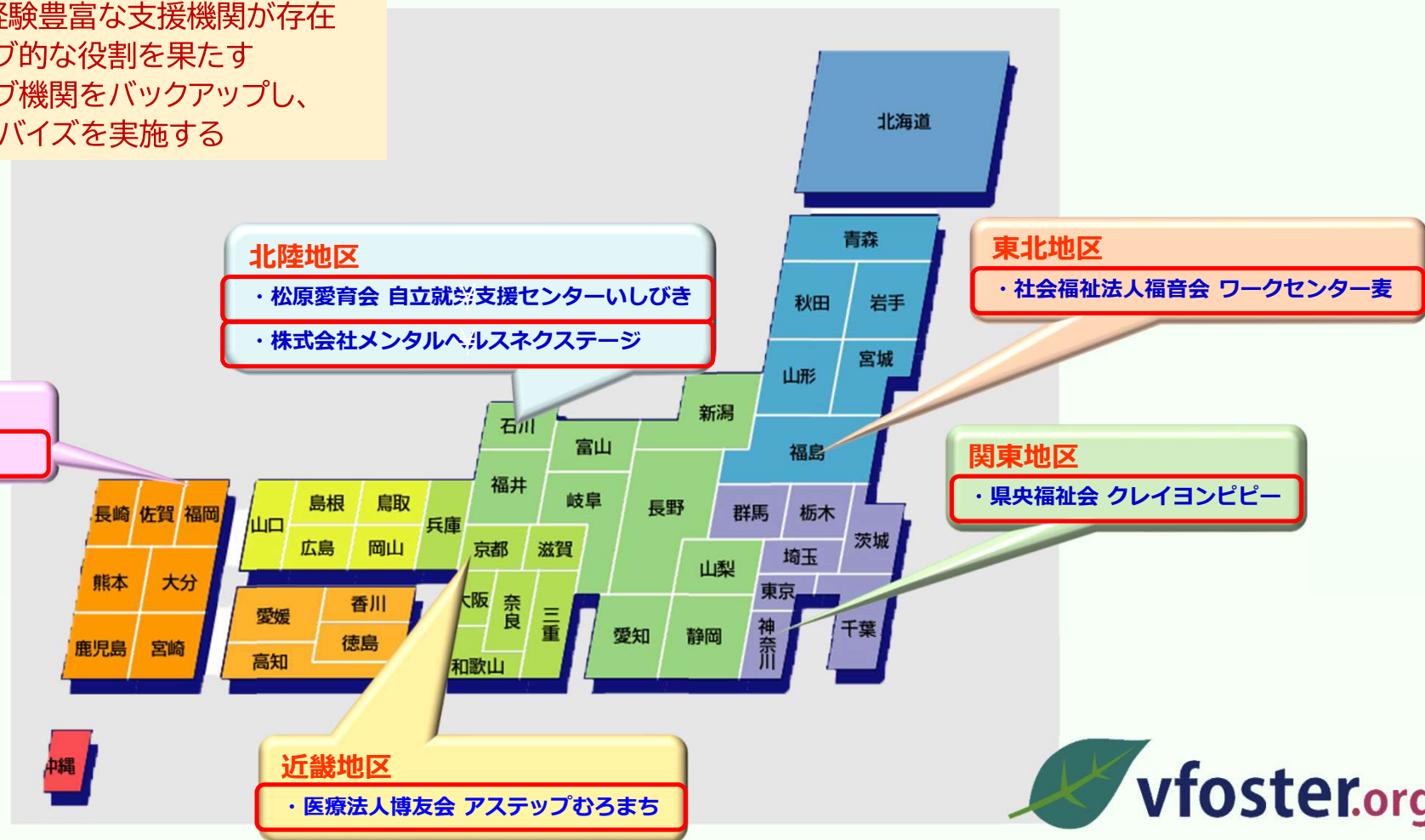
Talent Palette
タレントパレット

1. 1人1人に合わせた評価項目の設定
2. 対話(コミュニケーション)の機能
3. 第三者による関わりが可能

 vfoster.org

SPiS これから取り組んでいきたいこと

- 各地区にSPiSの運用経験豊富な支援機関が存在
- その機関が各地区のハブ的な役割を果たす
- vfosterは各地区のハブ機関をバックアップし、SPiS研究所がスーパーバイズを実施する



SPiS これから取り組んでいきたいこと

企業が雇用マネジメントを行う中でのツール活用メニューの提案

2021 12月 22 (水) 山田 比須夫 共有: 鈴木 花子(メンター)・田中 誠(課長)

体温: 36.1 °C
出勤: 9:00 ~ 退勤: 18:00
就業・起床時間: 就業: 0:00 ~ 起床: 7:00

ジャンル	評価項目	評価
生活面	片頭痛	2
社会面	気分の落ち込み	1
社会面	会話が合った	2
仕事面	集中力	3
仕事面	休憩をとる	4

担当者コメント: 12/22 変更 鈴木 花子
担当者コメント: 12/22 変更 田中 誠

サービス提供価格の体系整理

費目	金額
(1)システム利用料 日報システム利用料 100人まで	10,000 円/月
(2)外部相談員による個別支援 オンライン支援(ネットSPiS) 面談(リアルSPiS) 面談旅費交通費	10,000 円/人/月 8,000 円/回/人 実費 円/回
(3)外部相談員によるスーパーバイズ スーパーバイズ(オンライン+面談等) (対象者数が多くなる場合)	10,000 円/人/月 応相談 円/月
(4)企業支援実践アドバイザーによる実践アドバイス 対象者数により応相談	10,000 ~ 30,000 円/月



2024年度JKA補助事業 実施状況報告



ご清聴ありがとうございました